【取組内容】情報活用能力の視点の明確化

令和6年度 加良部小学校 研究主題と仮説

『情報活用能力ベーシック』の活用

情報の

収集

整理

情報活用能力の育成 研究主題 ~問題解決のための情報活用~ 目的に応じて<mark>情報を活用するための視点を明確にする手立ての工夫</mark>や, 児童が<mark>課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫</mark>をすることで,情 報活用能力を育成することができるだろう。 仮説 〇一連の学習活動における情報活用場面の設定 ○情報の活用方法について視点の明確化 手立て 〇児童が見通しをもち主体的に取り組めるような単元・ゴールの選定 〇「個別最適な学習」と「協働的な学習」の実現 ○情報の処理や共有における効果的な情報機器の活用

課

題

決

振り返り

改善

指導案の中で情報活用能力について取り 上げ、特に本時の展開の中で具体的に身 に付けさせたい能力や手立てについて明 記したことが有効であった。

※参考『情報活用能力ベーシック』一般社団法人日本教育情報化振興会

「情報活用能力の育成」を研究主題とし、どの ように情報活用能力を育成するか、視点を明確 にする手立ての工夫に取り組んだ。

授業者は『情報活用能力ベーシック』をもと にどのような能力を育成するのかという視点を 明確にした上で授業を行うことで、児童の情報 活用能力を向上させることができた。

【 例: 1 年 国語科 】

- 7 本時の指導
- (1) 評価規準
- ・お気に入りの本を読んで感じたことを動画に撮影し、紹介することができる。

「甲老カ 判断力 表現力等」C(1)ナ

- (2)情報活用能力の観点
- ・本を紹介する様子をタブレットで撮影することで、自身の発表の様子を確かめ、改善点を見つけた り、よりよい発表へつなげたりすることができるようにする。(整理・分析)

温程 | 次 | 学習内容と学習活動

指導·支援 ○評価

資料

【自分で取り組む】【広げ深める】

- 2 自分の課題に合わせて練習や撮 影を行う。
 - ・原稿を確かめる。
 - ・個人で練習を行う。
 - ・友達と見合い、助言し合う。
- 教師からの助言を受ける。
- 友達と撮影を行う。

- ・それぞれの学習進度を確認し、個に応 じた声かけや支援を行う。
- ○文章を読んで感じたことや分かった アレを仕右するアレができる
- ・本を紹介する様子をタブレットで撮 影することで、自身の発表の様子を繰 り返し整理・分析し、練習に生かすこ とができるようにさせる。

教師手本 (動画)

(発表原稿)

<仮説への手立て>